



友愛の森(二中だより)

5月号



学校教育目標 二中文化を創造する生徒

わかる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和元年5月30日発行

「二中生らしさ」の中にある「二中文化」

校長 渡邊 一 衛

5月17日（金）から3日間、修学旅行に行ってきました。

中学校生活の、やはり、大きな思い出となる行事。どの生徒の顔にも、行く前は期待感、そして、行って帰ってきたときは満足感、それが表れていました。

生徒のスローガンは、「F i n d」。実行委員長の佐野友海さんから、「F i n d」には4つの意味があると説明を受けました。

- ①気づく…時間に気づく
- ②見つける…京都・奈良の歴史、文化を見つける
- ③理解する…公共のルールを理解する
- ④知る…友達のいいところを知る

そして、『スローガンを達成し、修学旅行をきめる上で様々なことを「知る」ということを大切にしてほしいです。気づく→見つける→理解するという段階をふまえ、自分の知識を増やす、自分を磨くということを意識し、充実した3日間にしましょう。』としおりに記していました。

私は、このスローガンをもとに、この3年生から「二中生らしさ」というものを見つけようと考えていました。「二中生らしさ」、これは、私の感覚的なものになってしまうのかもしれませんが、学校教育目標に掲げられているとおり「二中文化を創造する生徒」であるということになります。

私が見つけた「二中生らしさ」

- 建造物や仏像、絵画などを見る目が輝いていたこと
 - ・短い時間の中での見学、通常は何気なくさらっと見てしまうものですが、それまでの調べ学習が生きた、丁寧な見方をしていました。
- 班長会議がただの連絡会ではなく充実していたこと
 - ・見学の際の列や歩き方が一般の観光客の方々に迷惑になったのではないか、など、その日の自分たちの言動を振り返り、次の日に向け自分たちで改善しようとし、実践していました。
- 2日目の夜行われた「古都のつどい」にパワーと一体感、チームワークがあったこと
 - ・実行委員が会の持ち方を工夫し、出されたクイズの内容、難易度もよく、みんなが楽しい時間を過ごすことができました。

ほかにもまだいくつもあるのですが、特に強く印象に残ったことをあげました。

そして、この3日間で、この3年生が最上級生として、後輩たちを引っ張っていき、よりよい二中を築いていくであろうことを確信しました。ぜひ、これからの様々な活動に対して、学校のリーダーとして全力で取り組んでほしいと思います。私たち職員も、子供たちの力が引き出せるよう、導いていきたいと思っています。

浅間大社清掃ボランティア ～56年目の取り組みより～

10連休明けの5月7日(火)、本校の全校生徒311名と大宮小学校5・6年生の183名が参加し、浅間大社清掃ボランティア活動が行われました。生徒主体の活動として長い年月をかけて引き継がれ、ここ数年は二中の美化・環境委員の生徒によって企画・運営されています。



作業は通学区制を中心とした18のグループに分かれ、中学生の通学区長がリーダー役を務め、進められました。秋の例祭では、小中学校が連携して通学区毎に整列して点呼を取るなど、災害時の訓練も併せて行う予定です。

各学年の行事が終了しました。御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

5月17日(金)～19日(日)の3日間で、宿泊行事が行われました。天候にも恵まれ、どの学年も充実した活動を行うことができました。子供たちは仲間と支え合い、助け合い、そして、集団として、また、個人としても成長することができました。以下は生徒の感想です。(抜粋)

宿泊研修



この3日間で学年として、そして、クラスとして、絆が深まったと思います。長縄飛びでは、何回もつかえてしまったけど、みんなで声を掛け合って、雰囲気切りかえることができました。今回の宿泊研修では、どのクラスも、より良くなっていったと思います。私たちの学年の良いところは、クラスに関係なく、みんな仲良く話ができることです。

私たちはこの3日間で、失敗をチャンスにかえることについても学ぶことができました。

1年 佐野 碧海

自然教室

今回の自然教室で一番苦労したのは食事です。ガスや電気はもちろんなく、火の管理は難しかったです。



少ない量の薪で調理をしましたが、自ら枯れ草を取りに行き、工夫する人も多くいました。この「行動力」は私たちの学年の良いところです。不便な生活のおかげで普段の生活が恵まれていること、そして、自然の良さも改めて知ることができました。自然教室では「仲間」という存在の大切さに気づくことができました。

2年 田村 夏絆

修学旅行

僕たちは昨年度から修学旅行の準備に取り組み”Find”というスローガンをとても大切にしてきました。Find



には「気づく」「見つける」「理解する」「知る」といった意味があります。時間の大切さに気づき、古都の歴史と文化を肌で感じ、その奥深さを見つけ、公共ルールを理解し、そして、仲間の良さを知る…。全員がこのスローガンを達成できたと思います。

修学旅行で得た知識や経験を生かしていくため、今後はさらに事後学習にも取り組み、今回味わった思い出を、さらに深めていきたいと思っています。

3年 佐野 友海



修学旅行の初日は奈良の法隆寺、薬師寺、興福寺、東大寺に行きました。特に、薬師寺ではお坊さんの話が印象に残りました。話の中で「かたよらない心、こだわらない心、とらわれない心」という言葉を聞きました。とてもいい言葉だと思いました。2日目は扇子作りの後、妙心寺と天竜寺で龍を見ました。2つの龍には色色な違いがあり驚きました。3日目の清水寺では胎内巡りにチャレンジしました。真つ暗闇の中を手探りで歩く、面白い体験でした。

修学旅行中は、助け合ったり、励まし合ったりしながら、仲間の優しさをたくさん見つけることができました。

3年 古郡 史也

